CARMATE

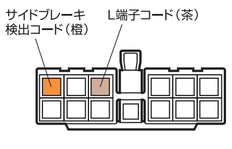
取付概要図

※本面は取付概要図です。実際の取付けにあたっては、必ず表面の「TE830取付マニュアル」記載の内容に従って作業していただくようお願い致します。
※本品のP/N検出データはバッテリー交換などで、本品の電源が断ち切られた際には消去されます。そのような場合は本紙裏面 ⑧ を参照の上、P/N検出データの再設定を行なってください。

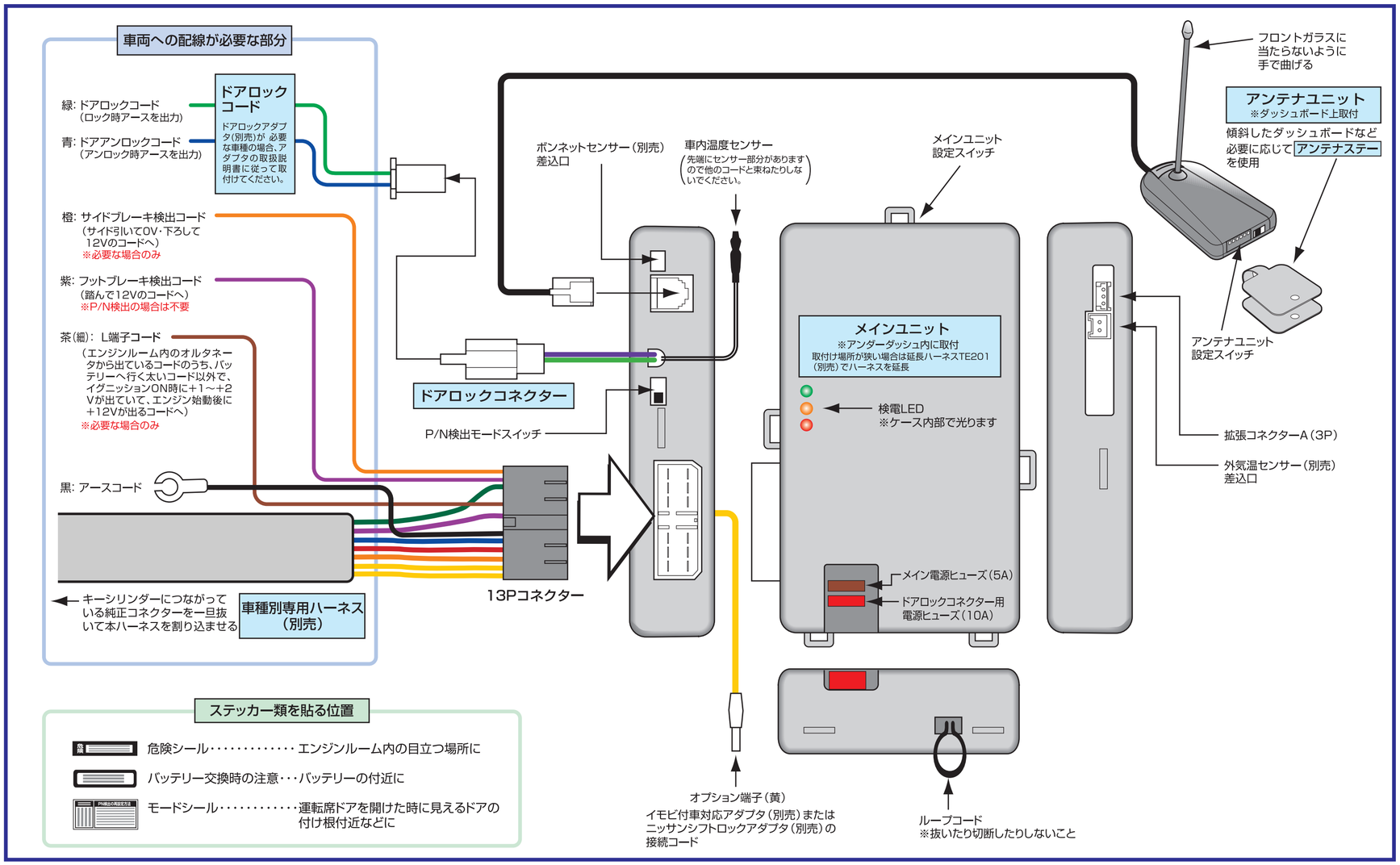
検電LEDの発光色

- 緑: IG
  → イグニッションONで点灯
- 橙: L端子
  → L端子接続時、エンジン始動で点灯
- 赤: フットブレーキ
  → フットブレーキコード接続時、踏むと点灯

ハーネスの各種コード差し込み場所



(コード側から見た図)
(ロックピンを一旦抜いて入れる)



ステッカー類を貼る位置

- 危険シール・・・・・・・・・・・・・エンジンルーム内の目立つ場所に
- バッテリー交換時の注意・・・バッテリーの付近に
- モードシール・・・・・・・・・・・・運転席ドアを開けた時に見えるドアの付け根付近などに

アンテナユニット設定スイッチ

	1	2	3	4	5	6
	ID書込	セル回転時間	アイドリング時間	グロータイム	ターボタイマー時間(5・6両方ONで3分)	
OFF	通常	短め	15分	8秒	0分	0分
ON	書込	長め	30分	5秒	1分	2分
取 脱 リンクページ	P40	P24	P25	P26	P27	

■色のところは、工場出荷時標準設定です。

メインユニット設定スイッチ

	1	2	3	4	5	6	7	8
	サイドブレーキ検出キャンセル	フット/P/N切替	ホンダABS	ノイズ検出	スターターカット	(使用しません)	(使用しません)	ボンネットセンサー
OFF	キャンセルしない	フット	非装着車	しない	使用しない			使用する
ON	キャンセルする	P/N	装着車	する	使用する			使用しない
取 脱 リンクページ	P30	P31	P32	P33	P34			P35

取付手順

※車両への配線を行なう際は、不意のショートを防ぐためバッテリーの㊀端子を外しておいてください。
※余った配線類はショート等を防ぐために確実に絶縁処理を行なってください。また、ワンタッチコネクターやハーネスなどの接続部分には必ず絶縁テープを巻いてください。

1. 取り付け位置を仮決めする
2. アンテナユニットをメインユニットに取付ける
   ※ダッシュボード上に固定する
3. 車種別専用ハーネス(別売)を車両に取付ける
4. アースコードを車両に取付ける
5. 車種別専用ハーネス(別売)の13Pコネクターをメインユニットに差し込む
6. サイドブレーキ検出コードを車両に取付ける(必要な場合のみ)
   ※取付けた場合はメインユニット設定スイッチのNo.1をOFFにする
7. イモビ付車対応アダプター(別売)をメインユニットに取付ける(必要な場合のみ)
   ※ニッサンシフトロックアダプター(別売)が必要な場合もここで取付ける
8. P/N検出が行えるかどうか確認する(検出できない場合はフットブレーキ検出コードの配線を行ない、メインユニット設定スイッチのNo.2をOFFにする)
9. エンジンスターター機能の動作を確認する
10. ドアロック機能の配線を行なう(ドアロック適合車種のみ)
11. ドアロックの動作を確認する(⑩でドアロック機能の配線を行なった場合のみ)
12. メインユニット・アンテナユニットの設定スイッチを設定する
    ※結束バンド(大)でメインユニットをアンダーダッシュ内に固定する

⑦へ

完了

確認
- P/N検出の設定
- ステッカー類の貼付
- ストラップの取付

★取付に関してのお問い合わせはこちらまでどうぞ・・・
■サービスセンター
☎(03)3320-9579(代表)
FAX.03-3320-9428
〒164-8611 東京都中野区弥生町3-35-13

TE830 取付マニュアル

※本品のP/N検出データはバッテリー交換などで、本品の電源が断ち切られた際には消去されます。そのような場合は本マニュアル 8 を参照の上、P/N検出データの再設定を行なってください。

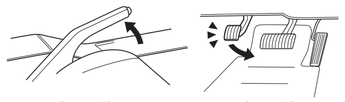
※本品の取付けは、必ずこの手順に従って行なってください。
※FAXから車種別ピットマニュアル（配線情報）を取出すことができます。詳しくは店頭の車種別ハーネス適合表をご覧ください。（誠に勝手ながら用意が出来ていない車種もございます。また、ピットマニュアルはオプションなど全ての配線を網羅するものではありませんのでご容赦ください）
※必要に応じて車両部品の取外しや加工が必要になります。
※車両配線への接続を行なう際は、ショート等を防ぐため、車両バッテリーのマイナス端子を外した状態で行なってください。お守りいただけない場合、以下のような危険がありますのでご承知置きください。
▼通電中のコードをワンタッチコネクターでカシメる際、カシメ工具（プライヤー）が車両ボディ（アース）に接触すると、プライヤーを通じてショートする恐れがあります。
▼各コネクターを差し込む際、ドライバーなどの金属物で押し込んだ場合、コネクターの端子間でショートする恐れがあります。
※余った配線類はショート等を防ぐために確実に絶縁処理を行ってください。また、ワンタッチコネクターやハーネスなどの接続部分には必ず絶縁テープを巻いてください。

確認 ①

セレクトレバーは、必ずパーキング（Pレンジ）に入れてください。

確認 ②

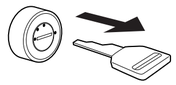
サイドブレーキは、必ず引いてください。



（サイド式）　（フット式）

確認 ③

キーは、必ず抜いてください。

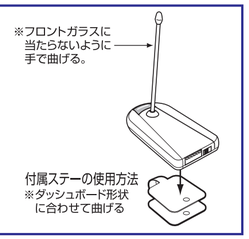


1 取付け位置を仮決めする （この時点では車両への固定は行なわないでください）

車両に合ったおおまかな取付け位置を決めておきます。運転操作や視界の妨げにならないよう注意してください。
アンテナユニット……ダッシュボード上に固定する位置を決めます。エアバッグ等の動作を妨げないよう注意してください。また、ダッシュボード上が傾斜している場合は、付属のアンテナステーを使用して取付ける事ができます。
メインユニット……アンダーダッシュ内に固定する位置を決めます。設定スイッチなどが切替しやすい位置に取付けるとメンテナンスがしやすくなります。

2 アンテナユニットをメインユニットに取付ける

アンテナユニットのコードを、ダッシュボード上からアンダーダッシュ内に引き込み、コネクターをメインユニットに差し込みます。
配線を取り回した後、アンテナユニットを両面テープでダッシュボード上に取付けます。
取付け場所の傾斜がきつい場合などは付属のステーを曲げて取付けてください。
（両面テープはアンテナユニット底面の技術適合証明ラベルを避けて貼りつけてください。）



3 車種別専用ハーネス（別売）を車両に取付ける

車両のキーコネクターを抜き、その間に車種別専用ハーネスを接続します。

注意 車種別専用ハーネスの接続位置は「キーシリンダー裏」もしくは「キーシリンダー裏から出ているコードにつながっているコネクター」です。それ以外の場所に接続すると車両故障の原因となりますのでご注意ください。

注意 コネクターはしっかり奥まで差し込んでください。差し込みが浅い場合、車両故障や動作不良の原因となります。差し込んだら、接続部を絶縁テープで巻いてください。

参考 ハーネスの長さが短く、メインユニットを 1 で仮決めした位置に収納できない場合は、別売のTE201「延長ハーネス50」を使用してハーネスを50cm伸ばすことができます。

4 アースコードを車両に取付ける

車種別専用ハーネスのアースコードを、車両の金属部分を固定している塗装していないボルトに共締めします。

注意 アースが不完全であることが動作不良につながるケースが多いため、接続場所には充分注意してください。

注意 オーディオ、ナビゲーション等、他の電装品と同じ場所にアースコードを取付けないでください。作動不良や、オーディオのメモリーが消失する場合があります。

5 車種別専用ハーネス（別売）の13Pコネクターをメインユニットに差し込む

メインユニットに車種別専用ハーネスの13Pコネクターをしっかりと差し込みます。

車種別専用ハーネス接続の確認方法

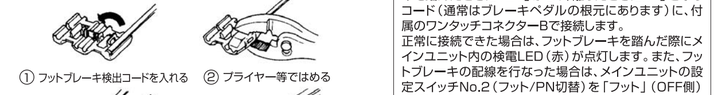
車両のキーをONの位置まで回し、検電LED（緑）が点灯すれば車種別専用ハーネスの接続は正常です。
点灯しない場合は、車種別専用ハーネス品番・接続位置・コネクターのゆるみ・アースの状態を確認してください。

参考 ハーネスの長さが短く、メインユニットを 1 で仮決めした位置に収納できない場合は、別売のTE201「延長ハーネス50」を使用してハーネスを50cm伸ばすことができます。

6 サイドブレーキ検出コードを車両に取付ける

車種別専用ハーネスのサイドブレーキ検出コード（橙）を、「車両のサイドブレーキ（パーキングブレーキ）を掛けたときにOV」かつ、「解除したときに12V」となるコードにワンタッチコネクターAで接続します。（寒冷地などで、駐車時にサイドブレーキを使用しない場合は接続する必要はありません。）
サイドブレーキ検出コードを接続した場合は、メインユニット設定スイッチNo.1「サイドブレーキ検出キャンセル」をOFF（上側）にしてください。
※サイドブレーキ検出コードが付いていないハーネスの場合、ハーネス同梱のコードと説明書に従って13Pコネクターの指定位置に差し込んでください。

ワンタッチコネクターAの使い方



7 イモビ付車対応アダプター（別売）をメインユニットに取付ける

（ニッサンシフトロックアダプター（別売）が必要な車種もこの時点で接続を行ないます。）

純正イモビライザー装着車の場合のみ、イモビ付車対応アダプター（別売）が必要です。
イモビ付車対応アダプター（別売）の取扱説明書を参照の上取付けてください。
また、各アダプターの取扱説明書記載の「リレーボックス」が本品の「メインユニット」に相当しますので取付けの際はご注意ください。

8 P/N検出が行なえるかどうか確認する

<P/N検出データの設定手順>
※設定は車に乗り込んで行います。

記号の見方

▬	長い音（ピー）
●	短い音（ピッ）

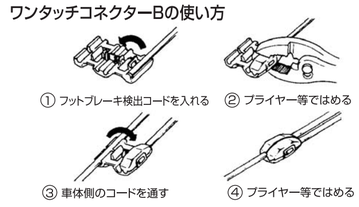
シフトレバーを「P」にしてキーを抜く
↓
リモコンでエンジンスタート操作をする（STARTボタンを押す）
↓
アンテナユニットから「ピー・ピー・ピー・ピー」×2回鳴る ▬ ▬ ▬ ▬ ×2
※他の音が出る場合は取扱説明書→P45参照
↓
20秒以内にキーをON（メーターパネルが点灯する位置）にする
（NG）→ アンテナユニットから「ピ・ピ・ピ・ピー」×2回鳴る ● ● ● ▬ ×2
（OK）※OK・NG いずれかの音がするまでそのまま待機
↓
アンテナユニットから「ピー」と1回鳴る ▬ ×1
↓
20秒以内にブレーキを踏んでシフトレバーを「R」にする
（NG）→ アンテナユニットから「ピ・ピ・ピ・ピー」×2回鳴る ● ● ● ▬ ×2
（OK）※OK・NG いずれかの音がするまでそのまま待機
↓
アンテナユニットから「ピー」と1回鳴る ▬ ×1
↓
設定完了

エンジンが掛かる場合
P/N設定済みあるいはフット接続済みです。（このままお使いください）

ハーネス品番およびハーネス取付状態を確認してください。
※20秒以内にキーをONに出来なかった場合は、もう一度最初から設定を行います。
↓
P/N検出モードを切り替えて（取扱説明書→P36）再度設定を行います。
※20秒以内にシフトを「R」に出来なかった場合は、もう一度最初から設定を行います。
↓
P/N検出モードを切り替えても設定できない場合

P/N検出の設定ができない車です。車種別専用ハーネスの「フットブレーキ検出コード」を、「車両のフットブレーキを踏んだときに12V」かつ、「離したときにOV」となるコード（通常はブレーキペダルの根元にあります）に、付属のワンタッチコネクターBで接続します。
正常に接続できた場合は、フットブレーキを踏んだ際にメインユニット内の検電LED（赤）が点灯します。また、フットブレーキの配線を行なった場合は、メインユニットの設定スイッチNo.2（フット/PN切替）を「フット」（OFF側）に切り替えてください。

ワンタッチコネクターBの使い方



9 エンジンスターター機能の動作を確認する

1. 車両のシフトレバーを「P」の位置にして車両のキーを抜き、サイドブレーキをしっかりと掛けます。
2. リモコンでエンジンスタートの操作をします。（取扱説明書→P17）
3. エンジンが正常に始動するか確認してください。
4. エンジンが始動しない場合は取扱説明書→P44の「エンジンスターター機能が作動しない場合」を参照の上、設定などを確認してください。

10 ドアロック機能の配線を行なう（ドアロック適合車種のみ）

注意 別売のドアロックアダプターが必要な車種は、各アダプターの取扱説明書に従って配線を行なってください。

注意 車種により、ドアロック機能が使用できない場合があります。店頭の車種別ハーネス適合表で適合を確認した上でお取付けください。適合車種以外の車にドアロック配線を行なうと車両故障や不具合の原因となります。

1. ドアロックコードの緑コードを車両のドアロックスイッチを押した時にOV（アースと導通する）、スイッチを離した時に+12Vになるコードに付属のワンタッチコネクターAで接続します。
2. ドアロックコードの青コードを車両のドアアンロックスイッチを押した時にOV（アースと導通する）、スイッチを離した時に+12Vになるコードに付属のワンタッチコネクターAで接続します。
3. ドアロックコードのコネクターを、メインユニットのドアロックコネクターにしっかりと奥まで差し込みます。

11 ドアロックの動作を確認する（10 でドアロック機能の配線を行なった場合のみ）

車両のキーを抜き、全てのドアを閉めてから、リモコンでドアロック・アンロックの操作（取扱説明書→P19・P20）を行ない、正常に動作するかどうか確認します。

12 メインユニット・アンテナユニットの設定スイッチを設定する

希望する設定になるように、メインユニットおよびアンテナユニットの設定スイッチを設定してください。
設定が完了したら正しく動作するかどうか必ず確認してください。確認後、付属の結束バンド（大）でメインユニットをアンダーダッシュ内に固定します。
尚、車内温度センサーの先端はできるだけ温度の影響を受けにくい場所になるように取付けてください（熱を発する電子機器やエアコンの吹出口などからなるべく離れるように調整してください）。

完　了
※取扱説明書→P13を参照し、ステッカー類や付属品をセッティングします。
※P/N検出の設定を確認します。